



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター

コード番号 2410 URL <http://type.jp/ir>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田弘實

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 西山裕

TEL 03-3560-1601

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	1,165	30.1	61	△13.9	63	△13.4	38	△46.5
24年9月期第1四半期	895	36.1	71	75.8	73	76.7	72	206.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	568.57	—
24年9月期第1四半期	1,062.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,201	1,217	54.1
24年9月期	2,020	1,270	62.1

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 1,191百万円 24年9月期 1,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期及び期末を配当基準日と定めておりますが、現時点の期末の配当予想は未定とさせて頂いております。

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,312	24.8	187	10.9	190	11.2	150	△11.1	2,194.84
通期	4,841	21.4	453	27.2	457	26.9	407	14.2	5,955.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	70,544 株	24年9月期	70,544 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	2,202 株	24年9月期	2,202 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	68,342 株	24年9月期1Q	68,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページ「1. (3)業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
2. 当期の配当予想値は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成24年10月1日～平成24年12月31日)における我が国経済は、世界景気の減速や長期化する円高の影響が根強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。しかしながら、雇用情勢においては、平成24年12月の有効求人倍率が0.82倍と緩やかな回復傾向で推移しており、特に、IT業界を中心とした企業の採用意欲が活発化しております。

このような状況において、当社は、強みである「エンジニア」マーケットを中心に売上高が増加し、前年同四半期比130.1%とほぼ計画通りに推移いたしました。事業の種類別では、事業開始から3年目を迎えるIT派遣事業が前年同四半期比211.0%となりましたが、キャリア情報事業が計画を下回る結果となりました。また、当期は営業基盤拡充のための先行投資として、一時的ではあるものの、本社の増床及び横浜オフィス開設のため約10,000千円コストが増加し、利益は前年を下回る前年同四半期比86.6%となりました。キャリア情報事業が計画を下回った主な要因といたしましては、1月開催のエンジニア適職フェアとWeb求人広告とを組み合わせた提案により販売が促進され、12月の受注高のうち一部が1月以降の売上高となったためであります。そのため、足元では、利益の増加傾向が見られます。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、1,165,335千円(前年同四半期比130.1%)、損益面におきましては、経常利益63,617千円(前年同四半期比86.6%)、四半期純利益は38,857千円(前年同四半期比53.5%)となりました。

<事業の種類別の業績>

当社は人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

①キャリア情報事業

当社キャリア情報事業は、Web求人広告・適職フェア・情報誌等の商品・サービスを運営しております。

当第1四半期累計期間におきましては、売上高は計画を下回ったものの、取引社数は前年同四半期比154%と大幅に増加し、売上高は前年同四半期比120.2%と右肩上がりに推移いたしました。特に、「女性」マーケットの売上高が顕著な伸びを示し、前年同四半期比147%と前年を大きく上回る結果となりました。その他にも、引き続き「エンジニア」「営業」マーケットへも注力し、売上高は前年を上回る実績となりました。

商品面におきましては、『@type』『女の転職@type』におけるスマートフォン版の機能改善やWindows 8への閲覧対応などユーザビリティを強化し、商品力強化を図ることで、『@type』は月間100万人を超えるユニークユーザーを維持しております。

大学生及び新卒者を対象とする新卒採用支援におきましては、就職情報誌『就活type』発行の他、関西地区では初めてのイベントとなる『キャリアビジョンtype ビジネスプロフェッショナル訪問会in京都』を開催、東京でのイベント開催数も増やすことで、売上高の増加を図りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間におけるキャリア情報事業の売上高は、712,824千円(前年同四半期比120.2%)となりました。

②人材紹介事業

当社人材紹介事業は、ご登録頂いた求職者の方に最適な求人案件をご紹介します登録型人材紹介を運営しております。

当第1四半期累計期間におきましては、IT業界を中心に成約件数が増加し、売上高は堅調に推移いたしました。また、新たな施策として、自社メディア『@type』と連携した人材紹介サービスの提案を開始し、大手企業との取引が拡大いたしました。さらに、22期からは新卒者向け人材紹介サービスもはじめ、中途採用だけではなく企業の採用ニーズに対応し、売上高増加を図っております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における人材紹介事業の売上高は、208,728千円(前年同四半期比111.6%)となりました。

③ I T派遣事業

当社 I T派遣事業は、当社にご登録頂いた登録者の方の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。

当第1四半期累計期間におきましては、強みとする「エンジニア」マーケットを中心に、派遣スタッフの稼働人数が増加するとともに、時給の上昇傾向も見られたことから、売上高が大幅に増加いたしました。また、エンジニア職種の登録者獲得も順調に推移し、平成24年11月には単月ではあるものの、事業開始以降初の黒字化を実現いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における I T派遣事業の売上高は、243,782千円（前年同四半期比211.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は2,201,503千円となり、前事業年度末に比べ181,246千円増加いたしました。流動資産は1,787,258千円となり、前事業年度末に比べ107,351千円増加いたしました。主な要因につきましては、現金及び預金が139,915千円増加し、受取手形及び売掛金が35,595千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は414,245千円となり、前事業年度末に比べ73,895千円増加いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が47,585千円、投資その他の資産が14,443千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は984,406千円となり、前事業年度末に比べ234,800千円増加いたしました。主な要因につきましては、流動負債における未払金が65,152千円、固定負債における長期借入金が162,600千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は1,217,096千円となり、前事業年度末に比べ53,553千円減少いたしました。これは、四半期純利益を38,857千円、剰余金の配当を102,513千円、新株予約権を10,102千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の業績予想につきましては、平成24年11月12日に公表いたしました第2四半期（累計）及び通期業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,899	1,257,815
受取手形及び売掛金	509,188	473,592
その他	55,412	57,811
貸倒引当金	△2,594	△1,962
流動資産合計	1,679,906	1,787,258
固定資産		
有形固定資産	62,962	110,548
無形固定資産		
ソフトウェア	155,084	158,406
その他	16,656	25,201
無形固定資産合計	171,741	183,608
投資その他の資産	105,646	120,089
固定資産合計	340,350	414,245
資産合計	2,020,257	2,201,503
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,922	9,188
短期借入金	30,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	112,400
未払金	186,502	251,654
未払法人税等	9,963	3,442
賞与引当金	57,460	15,253
その他	299,767	316,085
流動負債合計	694,617	768,023
固定負債		
長期借入金	—	162,600
退職給付引当金	48,220	47,535
その他	6,768	6,247
固定負債合計	54,988	216,383
負債合計	749,606	984,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,663	558,663
資本剰余金	339,295	339,295
利益剰余金	453,027	389,371
自己株式	△95,598	△95,598
株主資本合計	1,255,387	1,191,731
新株予約権	15,263	25,365
純資産合計	1,270,650	1,217,096
負債純資産合計	2,020,257	2,201,503

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	895,440	1,165,335
売上原価	255,900	395,369
売上総利益	639,539	769,966
販売費及び一般管理費	568,084	708,473
営業利益	71,455	61,492
営業外収益		
受取利息	14	11
解約手数料	1,155	2,220
貸倒引当金戻入額	830	650
その他	707	115
営業外収益合計	2,707	2,996
営業外費用		
支払利息	721	684
為替差損	—	187
営業外費用合計	721	871
経常利益	73,441	63,617
特別損失		
固定資産除却損	—	23,542
特別損失合計	—	23,542
税引前四半期純利益	73,441	40,074
法人税、住民税及び事業税	810	1,217
法人税等合計	810	1,217
四半期純利益	72,631	38,857

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。